

## 米国制裁の中国軍需関連 44 社（2）

米満啓

『CISTEC ジャーナル』2018年9月号の米中貿易戦争特集に「〈4〉米国による中国の主要軍需企業集団傘下の44拠点に対する輸出・再輸出規制と、西北工業大学の起訴」という記事が掲載されました。

先般私も米国制裁44社について整理を試みましたが、（<http://www.1st-xcont.com/44ChineseEntities.pdf>）そこで早速この記事に目を通しましたが、1か所、疑義を感じたデータがあります。

### 1. 問題の記述

9月号164頁より

(2) China Electronics Technology Group Corporation 13th Research Institute (CETC 13) 中国電子科技集团有限公司 (CETC) 第十三研究所 (別名: 河北半導体研究所その他5名称) 及び その12下屬組織  
(中略)

⑤ Hebei Medicines Health 河北省医薬保健品輸出入集团公司

中文名は河北省医薬保健品進出口集团公司

Entity List 原文の記述は下記の通り；

China Electronics Technology Group Corporation 13th Research Institute (CETC 13), a.k.a., the following six aliases, and twelve subordinate institutions:

(中略)

Subordinate institution

Hebei Medicines Health,  
113 Hezuo Road, Shijiazhuang, Hebei, China.

### 2. データとしての問題点

#### 2-1 医薬保健品会社が CETC 傘下？

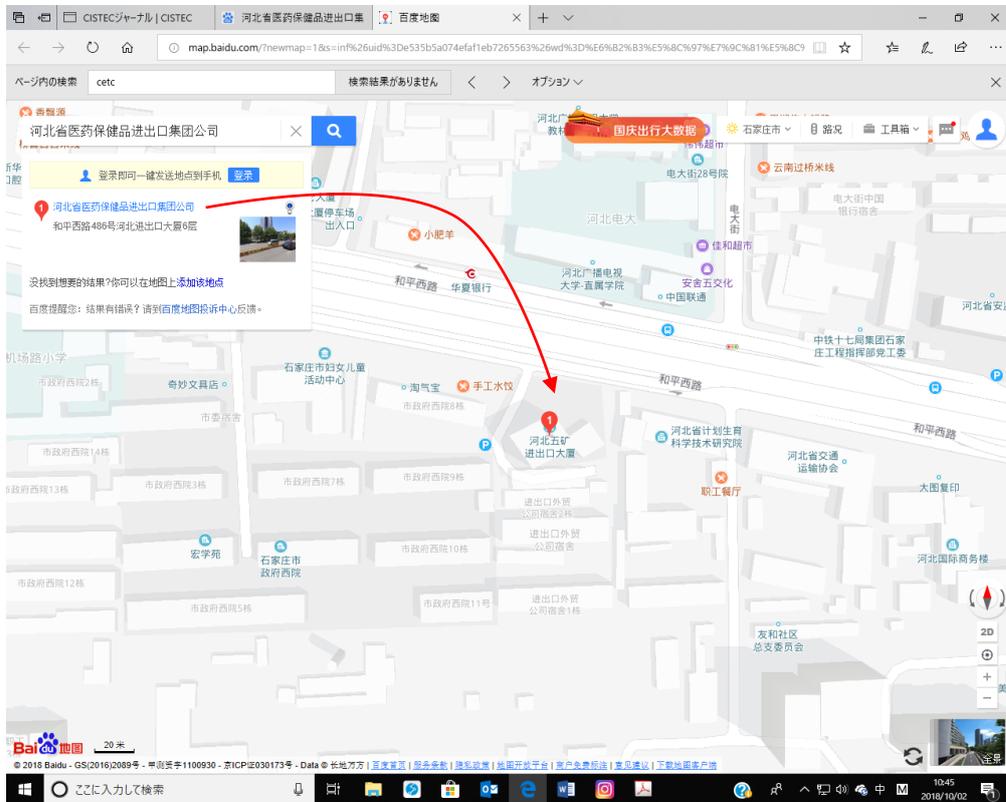
医薬品の輸出入を扱う企業であれば、衛生部の管轄下にあったはずですが。（但し医薬管理局や省衛生庁が間に入っているかもしれません）

一方、CETC（中国電子科技集団）は工業和信息部管轄の企業。全くの別系列です。

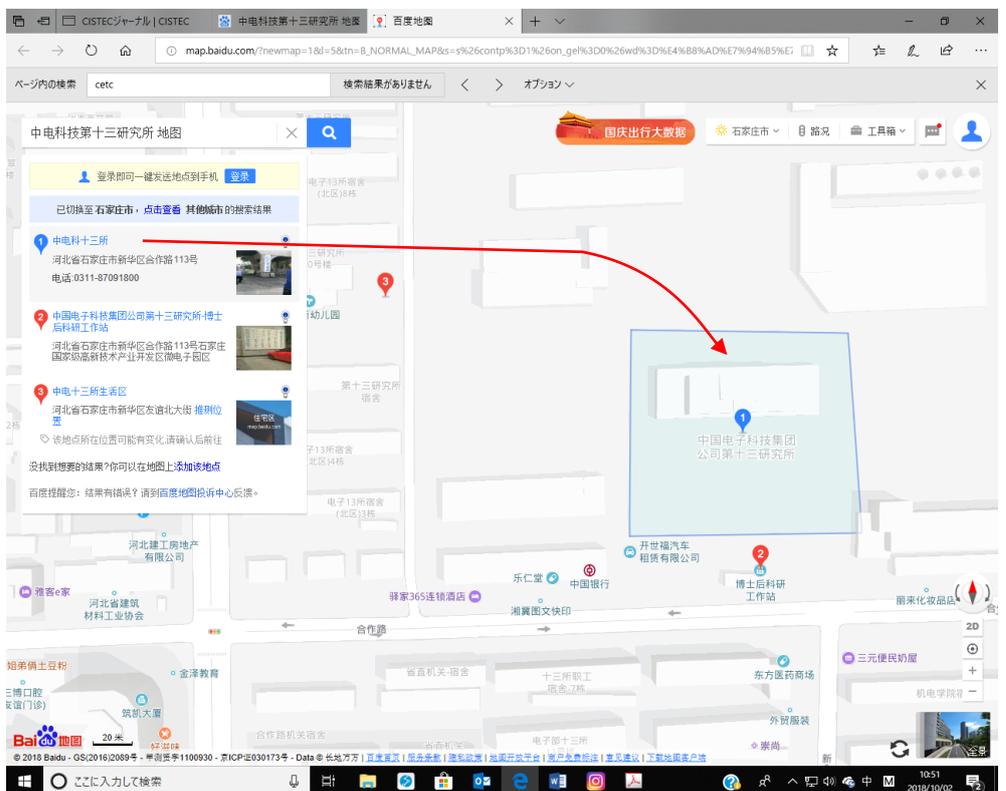
仮に最近成立の企業であれば、本家がエレクトロニクス企業であっても医薬品貿易の看板を掲げることがあるかもしれません。しかしこの集团公司の中核企業である河北省医薬保健品進出口会社が成立したのは1985年のことでした。当時の企業ですから、上部機関別に企業も組織されていたはずですが。つまり上述の通り、衛生部に連なる企業であったと見るのが妥当でしょう。機電部（工業和信息部の旧称）傘下ということは考えられません。

## 2-2 住所にも注目

ネット情報によると河北省医薬保健品進出口集团公司の住所は石家荘市和平西路 486 号。  
(<http://menecohb.company.lookchem.cn/about/>)

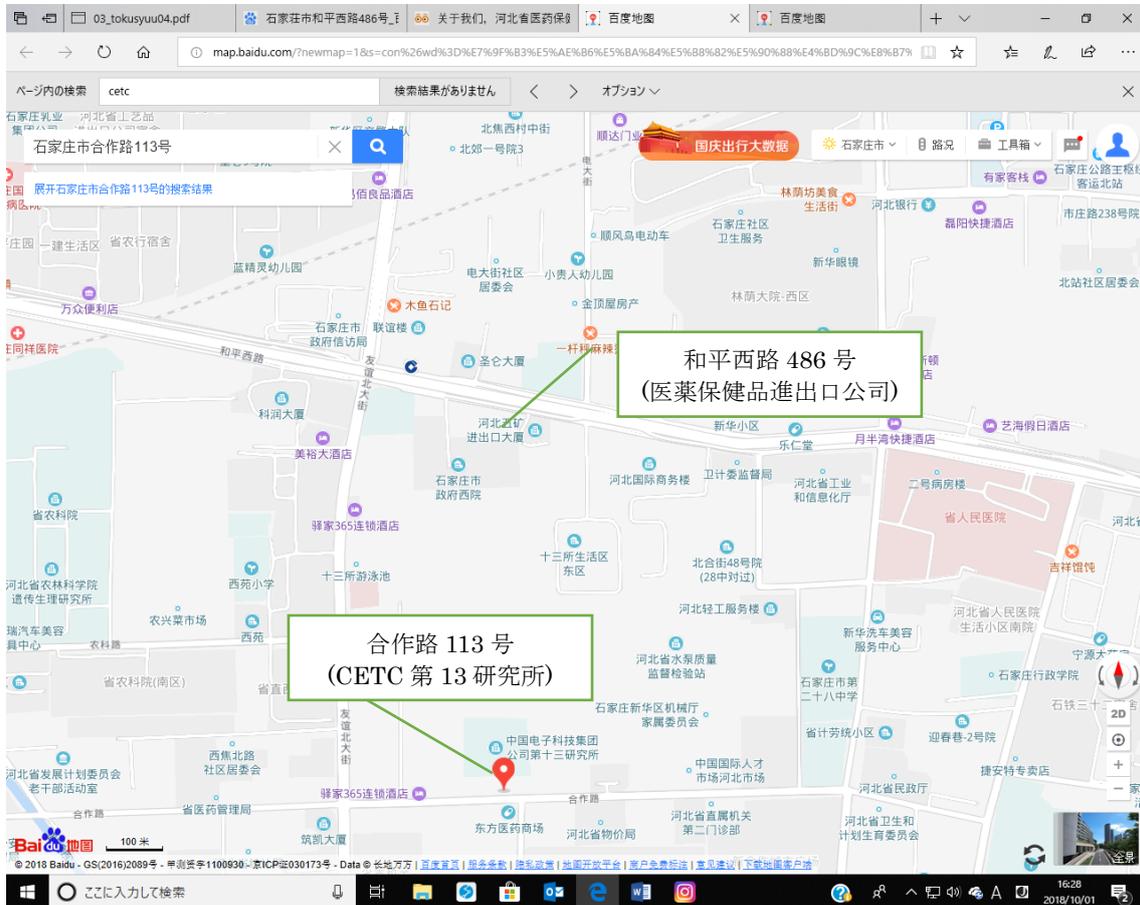


では Entity List にある「113 Hezuo Road, Shijiazhuang (石家荘市合作路 113 号)」は？



両者の位置関係も見ておきましょう。明らかに別の場所であることが確認できます。

そもそも合作路 113 号は CETC 第 13 研究所の住所。衛生部系列の企業（それも 1985 年創立の名門企業）がそこに同居しているなんて、普通は考えられないことです。



それゆえに私は、この Entity List 情報は眉唾（ただのノイズ）だと考えています。もしあるとすれば、CETC13 研究所が名義借りをした可能性ぐらいでしょうか。

また同リストは（実は同一企業…河北普興電子科技股份有限公司…と思われる）「⑥ Hebei Poshing Electronics と ⑦ Hebei Puxing Electronics」を 2 社とカウントしています。ほんとうにわかって書いているのか不安を覚えるのも無理ないというべきでしょう。

### 3. 情報の受け取り方の問題点

恐らく米国企業であれば「合作路 113 号の Hebei Medicines Health なる企業向け案件が要注意なのね」とドライに割り切ることでしょう。(本音としては「そんな企業あるのかね?」かもしれませんが) つまり「和平西路 486 号の河北省医薬保健品進出口公司なら別物」だから、特に神経質になる必要もなし、と考える可能性が高いと思います。

それにひきかえ日本はどうでしょう？

『ジャーナル』はわざわざ「本当はこういう漢字名の企業なんじゃないの?」と気を利かせて注意を喚起しています。そうすると読者も「住所は別だけど、社名がそうなら自粛した方がいいかも」と、更に気を利かせるわけです。(日本的!)

ただのノイズにそこまで付き合う必要があるのだろうか、というのが私の実感です。

でもほおっておくと、この漢字表記で経産省の外国ユーザーリストに登録されたりするんでしょね。

### 4. 歴史は繰り返す？

Xiangdong Machinery という組織のことをみなさんご記憶でしょうか？

この組織について我が国は Entity List のノイズ情報に振り回され、一度は外国ユーザーリストに登録してしまったものの、最後は削除に至ったのでした。

ザッと経過を振り返ってみます。

2001.5	Entity List に初登場 (66 FR 24267)	以来、今日まで掲載続く
2014.4	経産省外国ユーザーリストに登場	
2014.7	CISTEC 発行『対中国輸出管理入門』に「向東機械廠」の漢字表記で解説記事	
2014.10	本欄で「向東機械廠」の表記を批判 <a href="http://www.1st-xcont.com/Review_ChineseExpControl.pdf">http://www.1st-xcont.com/Review_ChineseExpControl.pdf</a>	
2014.11	CISTEC『対中国輸出管理入門』から「向東機械廠」の表記削除 <a href="http://www.cistec.or.jp/publication/teisei_data/f-23-2014/f23-78.pdf">http://www.cistec.or.jp/publication/teisei_data/f-23-2014/f23-78.pdf</a>	
2016.1	経産省外国ユーザーリストから削除	

思えばくだらない騒ぎでしたが、実害は小さかったことと思います。というのは、現実の取引で「向東機械廠」向け案件など極めて稀だったでしょうから。

しかし今回の「河北省医薬保健品進出口(輸出入) 集団公司」は違います。現に活動している貿易商社ですから、もし根拠薄弱な中文名称が独り歩きすれば影響は避けられないでしょう。

米国政府が持っている情報の中身をシカと吟味できれば理想的ですが、それが困難ならばとりあえず、この表記が独り歩きせぬよう、しかるべき注記補足を加えることが必要だと考えます。